

被災高齢者の未来を変える

そなえざあ しぞ〜か

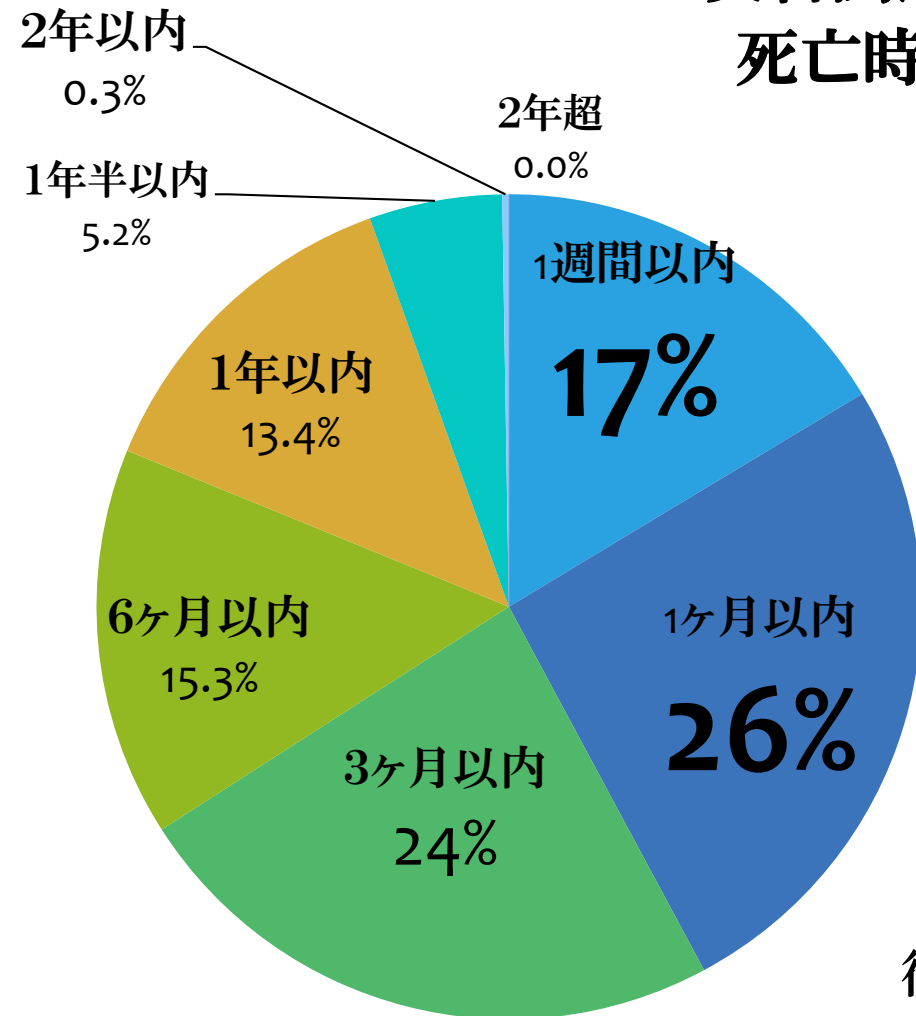
東日本大震災で起きた事

事業所の1割が被災
1年後復旧7割
高齢者への支援が止まる

震災関連死2688人
約89%が高齢者
約4割が1ヶ月以内に死亡
避難後も死の危険がある



災害関連死
死亡時期



静岡市の震災後は？

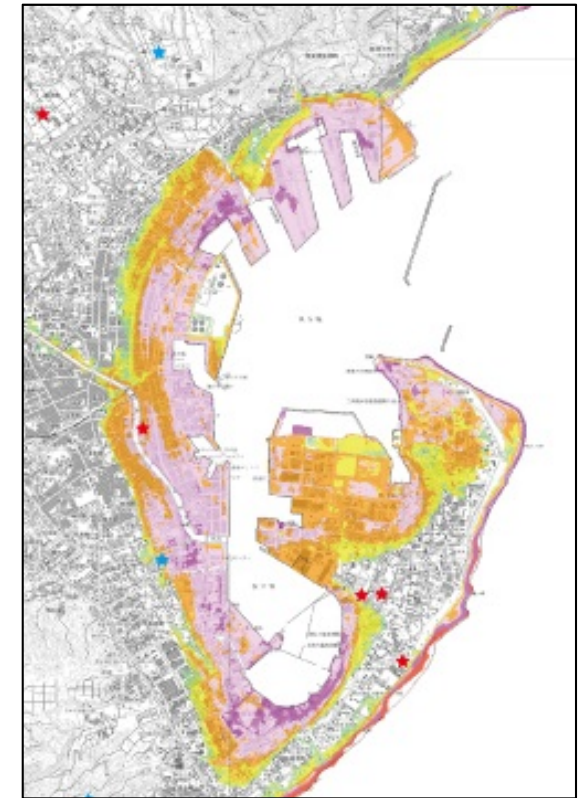
死者 15300人(人口の**約2%**)

建物 全倒壊93000棟(全体の**約40%**)

津波浸水域の施設 **7施設651床**



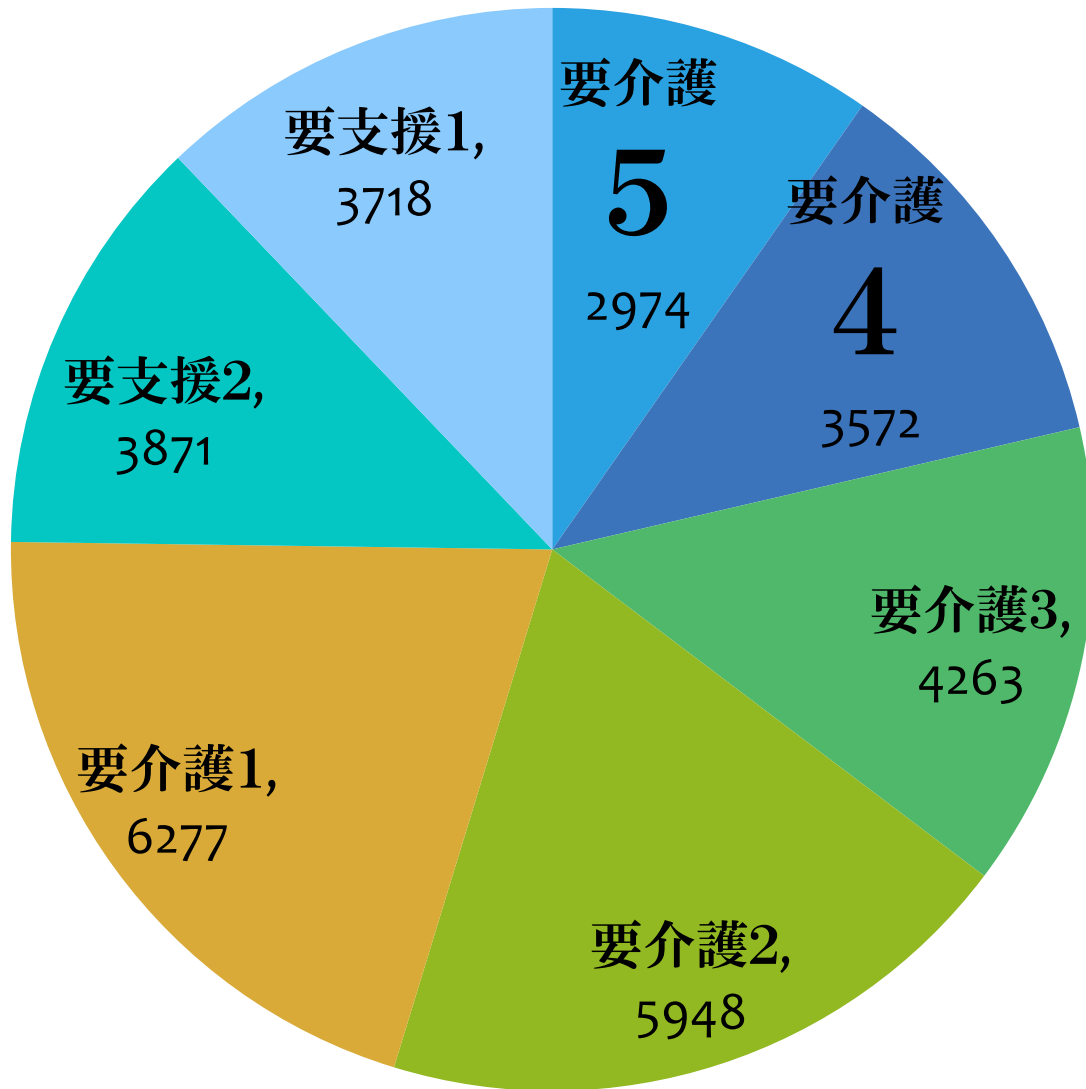
清水区津波浸水域



介護事業所 一部休止または**廃業**

影響1 利用者のリスク

静岡市の要介護別認定者数



重度(要介護4・5)の
2割 **約1300人**

支援中断により

死の危険

影響2 静岡市への影響

約1300人(介護4、5の2割)
→市外の施設へ避難した場合

静岡市の支出(市外の施設へ支払われる金額)

3818万円/月

※市の雇用や税金にならない支出

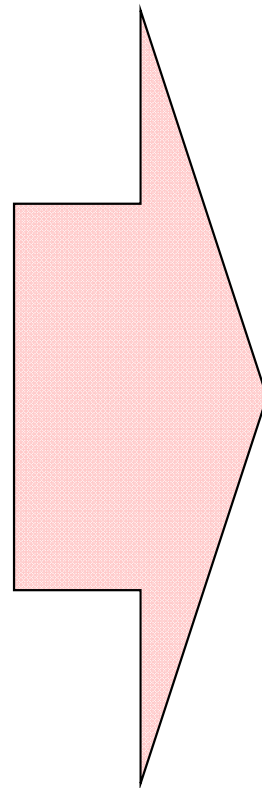
※1月あたり保険給付費235000円として市の負担分12.5%=29370円/人
29370円×1300人分=38181000円/月
(住所地特例制度により住所地は以前の保険者)

提案 事業所の早期再開

避難計画
備蓄(3日間)



発災直後～3日
防災計画



重要な業務を決める
復旧の優先順位を決める
目標復旧時間を決める
人材確保策

例 医療的ケア 即再開
食事 12時間以内
リハビリ 24時間以内
職員の為の仮住居

再開計画へ

いわゆるBCP(事業継続計画)

モデル地区施設(特養)へ支援決定

出前講座の利用 机上訓練後の提案



《アンケート》BCP策定に躊躇する要因

- ・どこまで想定して良いかわからない
- ・手間がかかる

支援方法の改善

道路寸断
1日間

大雨
停電2日間
(夏・冬別)

地震
孤立3日間
(夏・冬別)

具体的な想定

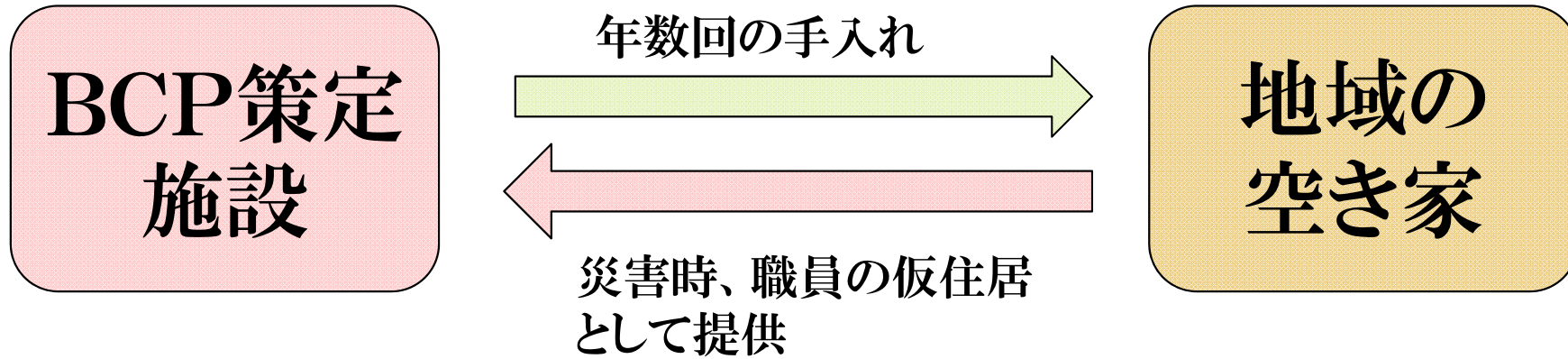
+

ステップアップ式



今後の課題と対策案

仮住居の提供による人材確保策(案)



活動費について(案)

